

進路だより

山梨高校 進路支援部

第3号 R6.12.23

「大学入学共通テスト」に向けて ～ラストスパートをかけよう！～

令和6年も終わりに近付き、令和7年を迎えようとしています。今年度の「大学入学共通テスト」は令和7年1月18日（土）・19日（日）に実施されます。また、追試験については翌週の1月25日（土）・26日（日）に東京農工大学と東京外国語大学で実施されます。全国の志願者総数は495,171名と昨年度と比較して3,257人の増加となりました。さらに、全国の高校3年生のうち共通テストに出願した者の割合は全体の45.5%と昨年度を上回り、3年連続で過去最高となりました。

本校の3年生は全体の55.4%にあたる77名が出願しており、昨年度と同様に山梨大・山梨学院大・山梨県立大池田キャンパスの3会場に分散しての受験となります。当日の2日間はClassiを活用して出席確認を行います。先日配布した受験票で各自の受験会場を確認したと思います。また、12月23日（月）には「受験上の注意」を配付し、受験する際の注意事項について確認します。共通テスト前日には激励も兼ね、再度、注意事項を周知する機会を設けています。鉛筆など、持ち物を準備しておきましょう。

今年度は新課程になってから初めての入試となります。そのため、昨年度までとは異なり、出題科目や内容が大きく変わります。主な変更点は次の通りです。

- ① 「国語」の問題構成変更（近代以降の文章に大問1つ追加）・配点変更・試験時間10分増加
- ② 「地理歴史・公民」の出題科目が大きく再編（選択の組み合わせを事前に確認）
- ③ 「数学Ⅱ・B」が「数学Ⅱ・B・C」に変更・回答問題数増加・試験時間10分増加
- ④ 「情報Ⅰ」が新設

くれぐれも、旧課程の問題を解いたり、マークカードの旧課程欄をマークしたりすることのないように注意しましょう。

受験に臨む3年生の皆さんにとってこの共通テストは、3年間の学業の集大成と言えるものです。今が最後の追い込みの時期です。冬季休業中の対策課外を活用し、家庭での勉強に集中して取り組みましょう。『現役生は受験直前まで伸びる』とよく言われます。身に付けた知識を実際に活用できるかどうか重視される共通テスト。あきらめずにコツコツと勉強を積み重ね、最後まで努力を続けてください。3年生全員の進路実現を応援するとともに、皆さんの頑張りに期待しています！！

電子機器類の使用について

共通テストの試験中に電子機器の使用による不正行為が発覚してから、試験会場での電子機器類についての注意喚起が年々厳しくなっています。「受験上の注意」の冊子で注意事項を確認しておくとともに、当日の共通テスト会場でのClassiの出席確認入力後は速やかに携帯電話の電源を切っておくべきことを徹底しましょう。

今年度の進路実績（中間報告）

夏季休業に入ってから総合型選抜・AO入試のエントリーから始まり、11月には多くの学校推薦型選抜（指定校制・公募制）入試が行われました。ここで、これまでに決定した進路状況の中間報告をします。

- 1 大学進学者：国公立大学の学校推薦型（公募制）16名＜昨年度11名＞、総合型選抜2名＜昨年度2名＞が合格しました。私立大学は学校推薦型（指定校制）29名＜昨年度23名＞、（公募制）2名＜昨年度4名＞、総合型選抜16名＜17名＞の合格です。
- 2 短期大学進学者：学校推薦型（指定校）2名＜昨年度8名＞、（公募制）11名＜昨年度5名＞、総合型選抜1名＜昨年度0名＞が合格しました。うち、県内12名、県外2名でした。
- 3 専門学校進学者：学校推薦型（指定校）5名＜昨年度9名＞、（公募制）10名＜昨年度14名＞、総合型・AO入試19名＜昨年度10名＞、一般選抜7名＜昨年度7名＞が合格しました。
- 4 就職：民間企業へ6名＜昨年度4名＞、公務員1名＜昨年度4名＞が内定しています。

年々、総合型選抜入試を導入する学校が増え、本校からの受験者もますます多くなっています。また、今年度は昨年度よりも県外を希望する生徒が増加しました。

これからは一般入試にチャレンジです。最後まで粘りを見せて頑張りましょう！

1・2年生の皆さんへ ～校外活動への積極的参加を！！～

今、あらゆる入試形態において「学習計画書」「志望理由書」「自己評価書」「自己推薦書」などの提出が求められる傾向にあります。志望分野に対する適性や意欲についてアピールするだけでなく、「自分が高校時代にどのような経験を重ね、そこから何を学び、考え、なぜこの進路を選択したのか。今後どのように学び、社会人になってどのように社会貢献しようとするのか。」等、将来への明確な展望、そして高校在学中の様々な経験とそこからの成長を、自分の言葉で伝えられるか、が問われています。この時にまず大切なのが3年間の経験の積み重ねです。これらは志望校を決めてから慌てて“体験しよう”としても間に合いません。学校で全員が取り組むものではない「何か」に“自分の意志”で取り組んだ、という“客観的な事実”、それが重要です。そのためにも英検や漢検などの「資格取得」に挑戦したり、自分から継続的な「ボランティア活動」や「体験活動」にチャレンジしてみたりすることが重要です。その上で、次にそれらを“自分の言葉”で文章表現する力も必要となります。日頃から感じたことや考えたことを整理して書くことを習慣化し、2年生の後期土曜課外から実施される「小論文課外」も上手に活用して表現力を身に付けていきましょう。

3年生の保護者の皆様へ（お願い）

本校3年生の進路検討に際し、例年ベネッセや河合塾等の受験関連企業が取りまとめた各種データ（偏差値・合格可能性判定など）や受験レポートを活用しております。これは全国の高校生の入試結果情報等により作成されたものであり、今年度の本校生徒の入試結果や受験報告についても個人情報取り扱いに細心の注意を払った上で「個人が特定されない形式」での提供を予定しております。この件に関しまして、御同意いただけない場合は提供を控えますので、1月9日（木）冬季休業明け初日までに、HR担任または進路支援部までお知らせください。